SHINAGAWA
School of Community
Care Worker

令和３年度　品川福祉カレッジ認知症ケア専門コース

施設ケア研修
受講者募集案内

利用者本位の施設（認知症）ケアに向けて
利用者の生きる姿をともに描こう

＊＊今年度の「施設ケア研修」＊＊

「認知症ケア専門コース」は、在宅・施設介護に関わる現場従事者を対象に、認知症の人へのケアのあり方、その基本的視点の見直しを図り、その結果を、新しいケアとして実践していくことを通じて、ケアの質向上とケア関係者の連携を深めていくことを目指しています。

このなかで＜施設ケア研修＞は、それぞれの施設（チーム・フロア・ユニットなど）単位で、自分たちの施設ケアの諸課題と背景を検討し、その課題解決に向けた具体的な取り組みの目標や方法を定め、現場の仲間と実際に行っていくことによって、利用者一人ひとりの「人としての生きる姿の取り戻し、維持・暮らしの実現」を目指していきます。

これまで一連の取り組みを通じて、法人・施設事業所を超えた仲間の絆が固く結ばれてきました。また、利用者の姿が変わってきた、自分たちの意識が変わってきたという報告が寄せられています。

これからも継続的に施設ケアの質向上に向けた実践を蓄積しつつ、共に歩みをすすめる地域の仲間をつくり、広げていくことも大切にしていきます。

主催　　品　川　区

実施　　品川介護福祉専門学校・品川福祉カレッジ

令和３年度 品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 施設ケア研修 年間スケジュールと課題

回		日 程	目 的/内 容	プログラム/ 講師・協力者(予定)	課題と提出期限
第1回	研修のねらい確認 ケアの振り返り 課題抽出 （基本講義） （話し合い）	６月30日（水） 14：00～16：30	●この研修のねらいと目的を理解しよう。 ●認知症ケアで大切にしたい基本視点をあらためて確認しよう。 ●自分たちが日ごろ行っているケアを振り返って感じていることや疑問に思っていることを話し合おう。 ●利用者の「生きる姿」と自分たちの日ごろのケアはどのような違いや差があるか、また、自分たちの施設でその違いや差を埋めるためにはどうしたらよいか考えよう。	①基本講義「施設ケアを見直す視点とは」： 東京都認知症介護指導者 市本 洋 氏 ②他施設の仲間と話し合い：日頃のケアを振り返って	【提出物】 「大逆転の痴呆ケア」感想文 【提出方法】 本校までレターパックにて送付 【提出期限】 ６月２５日（金）
第２回 行動計画策定 計画実施に向けた スキルアップ （講義） （話し合い）		８月２日（月） 14：00～16：30	●自分たちの取り組みを現実的なものにし、同じ施設の仲間に分かりやすく伝え、巻き込んでいくために、計画を見直して具体像を考えよう。 ●今年取り組む予定のアクションプランを持ち寄り、仲間と話し合い、疑問や課題も率直に出し合って、プラン内容を見直したり、意味づけたりしてみよう。	①他施設の仲間やファシリテーターとの話し合い：アクションプラン発表 ②同じ施設の仲間との話し合い：計画見直し、取り組みに向けて	【提出物】 ①施設の課題抽出シート ②施設の行動計画シート 【提出方法】 E-mail 【提出期限】 ７月２３日（金）
アクション期間			●仲間の力を結集して、自分たちの描く取り組みを進めてみよう。 ●受講者同士の情報交換のため、積極的に施設訪問をしあおう。		
第３回 進行状況の整理/確認 情報・意見交換 （ファシリテーター等の施設訪問）		９月～11月 （日程は、別途調整）	●仲間のファシリテーター等が各施設を訪問し、アクションプランの進み具合や課題について情報交換をします。 ●いろんな疑問や悩みもぶつけ、どんどん意見を交わし、助言やヒントをもらって、後半の取り組みにつなげよう。 ●受講者の参加も大歓迎です。	ファシリテーター	【提出物】 ①中間のまとめを記入した施設の行動計画シート ②施設の課題抽出シート 【提出方法】 E-mail 【提出日】 施設訪問当日の１週間前（別途連絡）
第４回 進行状況の整理/確認 受講者間での情報/意見交換 （ミニ講義） （話し合い）		11月29日(月) 14：00～16：30	●各施設での取り組みの途中経過を持ち寄り、受講者仲間との話し合いで、悩み・疑問や課題を率直に出し合って、意見交換や情報交換をしてみよう。	①各施設からのミニ中間発表 ②他施設の仲間との話し合い ③同じ施設の仲間との話し合い	【提出物】 ①施設の課題抽出シート ②施設の行動計画シート 【提出方法】 E-mail 【提出期限】 11月19日（金）
第５回 実践発表会		令和４年 ３月２日（水） 13：30～17：00	●広く介護現場の方々に向けて、今年やってきたこと、結果として、わかってきたこと、変化してきたこと、これからも続けてチャレンジしていきたいことなどを、パワーポイントを使ってプレゼンテーションします。 ●施設長様等関係者にも参加いただきます。 ●受講者同士の間でも意見交換します。		【提出物】 ①実施の結果を記入した施設の行動計画シート ②施設の課題抽出シート ③発表のためのパワーポイント 【提出方法】 E-mail 【提出期限】 ２月１８日（金）

＊ **研修を進める上で悩みごとや困ったことが出てきたら、どんな小さなことでもかまいませんので、お気軽にご連絡ください。私たちも共に研修を受け・進めていく仲間です。**

＊ **予定は、都合により、変更になる場合がございます。**

品川介護福祉専門学校 TEL ０３－５４９８－６３６４ E-mail： s-kaigo@cts.ne.jp
品川区高齢者福祉課 TEL ０３－５７４２－６８０２

１．受講対象者

⑴　区内の介護保険施設等に勤務し、施設長が推薦する職員３人程度の方。
（職種は問いません。）
※認知症ケア専門コース　地域型基礎研修（旧基礎課程）を受講していない方は、今後受講いただくことが望ましい。

⑵　別紙の研修日程すべてに、①の受講者が全員参加できること。

⑶　旧専門課程Ⅱおよび本研修の既修了者の再受講も可とします。

２．受講申込について

⑴　受講費用
受講者一人につき、20,000 円
※別添振込用紙にて、受講者人数分の費用をお振込願います。

⑵　申込方法
申込用紙（別紙）に受講予定者をご記入のうえ、品川介護福祉専門学校まで FAX 送信してください。

⑶　申込期限
６月１８日（金）

３．受講費用のお支払いについて

⑴本校で申し込みを確認後に振込番号を発番しますので、お振込みの際は、振込番号を依頼人名義の前にご記入ください。

⑵振込みは、同封の振込用紙、ATM、ネットバンキングが使用可能です。振込先は以下のとおりです。振込手数料は、ご負担ください。

【受講料の振込先】
みずほ銀行 品川支店　普通　8023418　品川介護福祉専門学校

⑶受講料お振込み期限
６月２１日（月）

４．受講方法について（オンライン受講）

今後の状況により変更する可能性はありますが、現時点では、本研修は、オンライン開催を予定しています。つきましては、以下について、ご確認いただき、お申し込みくださいますようお願いいたします。

⑴原則、お一人に対し、一端末（パソコン、タブレット等）ご用意ください。

⑵通信環境が整った場所での受講をお願いいたします。（wifi 推奨）環境が整っていれば、受講場所は問いません。

⑶オンライン講座実施時の通信料、通信容量は、ご負担ください。

⑷視聴環境が整わない場合は、原則、講座当日の１週間前までに本校までお電話でご連絡ください。（TEL：03-5498-6364）

⑸当日必要な資料は、講座当日の１週間から４日前までに勤務先に送付します。

⑹その他、オンライン受講についてのお願いは、当日資料と共にお知らせいたします。

5．受講申込の流れ

①申込用紙を記入し品川介護福祉専門学校にFAXで送る。(6/18まで)

↓

②品川介護福祉専門学校から申込の確認と**振込番号**をFAXでお知らせする。

↓

③**振込番号**を依頼人名義の先頭に付けて受講費用を振り込む。(6/21まで)

↓

④品川介護福祉専門学校から受講決定通知を送付。

6．受講決定

受講料のお振込みが確認できましたら、原則、当日資料とともに受講決定通知を送付いたします。

7．課題図書

受講決定者は、事前学習指定図書『大逆転の痴呆ケア』和田行男著を読み、８００字程度の感想文を作成し、６月２５日（金）までに提出してください。(必着)

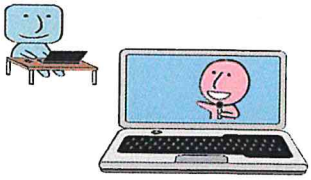
（中央法規出版　サポーター:宮崎和加子）価格：１,８７０ 円（税込）

⑴提出の際は、レターパック（レターパックプラス（赤）、レターパックライト（青）どちらでも可）を使用してください。初回の課題提出時のレターパック代については、恐れ入りますが、ご負担ください。

⑵事業所単位でまとめて、投函ください。

⑶感想文の書式は問いませんが、必ず、すべてのページに所属先とお名前を記入ください。

8．その他

受講決定者は、自分の施設概要やこれまでの本研修での取組み内容、今の状況等をふまえて研修参加いただきたく存じます。ぜひ旧専門課程Ⅱおよび過去の研修受講者との情報・意見交換、蓄積してきた資料に目を通すなど準備ください。

◆お問い合せ先◆
品川介護福祉専門学校　（担当：松谷・酒井）
TEL：03-5498-6364　FAX：03-5498-6367
E-mail：s-kaigo@cts.ne.jp